

京都検定講演会講師による‘よもやま話’。京都検定を通じて、京都の魅力を再発見しましょう。

## 第20回 京都検定 3級公開テーマ「琵琶湖疏水」 生命の水、心も潤す「琵琶湖疏水」

【講師】  
塩原 直美  
京都観光  
おもてなし大使



京都の近代史跡の代表格「琵琶湖疏水」。2020年には「日本遺産」にも認定されました。まだ日本の近代化が諸外国に追いついていない中、外国人技師の手を借りずにオールジャパンで成し遂げた大土木事業です。

中でも南禅寺境内にある「水路閣」はシンボリックな建造物で知られます。この「水路閣」をはじめ、関連施設には多くの煉瓦が使われています。当時、堺が煉瓦の一大産地でしたが、それでは足りず、現在の御陵駅のあたりに煉瓦工場が新設されました。約3年3ヵ月稼働し、約1,369万個の煉瓦が焼かれ、大半が疏水施設用でした。地下鉄・御陵駅2番出入口の脇には、その煉瓦工場跡碑が建っています。

有名スポットは蹴上周辺に集中していますが、琵琶湖からスタートする第一疏水は長等山や日ノ岡山をトンネルで抜けて蹴上に至り、鴨川と並走する鴨川運河となって「みなとオアシス」に登録された伏見港まで続きます。蹴上から北上し「水路



煉瓦工場跡碑



山科疏水

閣」を経て北白川へと続く疏水分線沿いには、桜の名所「哲学の道」も含まれます。

明治40年代、電力需要の増大や市民の飲料水確保に対応するため、第一疏水の北側に並行する第二疏水を推し進めた人物は、西郷隆盛の息子で知られる第2代京都市長の西郷菊次郎です。

全長31キロの琵琶湖疏水、各スポットを目指しながら近郊を歩くのも良いでしょう。散策前には「琵琶湖疏水記念館」の見学をお忘れなく。歴史や建設過程の解説、関わった人たちの熱い使命と誇りに触れると、学習効果もアップするでしょう！そして、春はトンネル内の竖坑を体感できる「びわこ疏水船」や、記念館前に乗船場のある「岡崎十石舟めぐり」で船上からのお花見もお勧めです。初夏には蹴上浄水場の躑躅も楽しめます。琵琶湖疏水は我々に生命の水を注いでくれるだけでなく、心も清々しく優しく潤してくれます。

## 2022年度 京都検定概要が決まりました！

### 第20回

試験日 7月10日(日)  
受験地 京都市内  
公開テーマ [3級] 琵琶湖疏水

### 第21回

試験日 12月11日(日)  
受験地 京都市内、東京都内  
公開テーマ [3級] 祭と行事  
[2級] 京の国宝～美術工芸品～  
[1級] 京の茶室

※京都検定では『公開テーマ』に関する問題が各級10問出題されます。

※「京都・観光文化検定試験」「京都検定」及びそのロゴマークは京都商工会議所の商標です。無断で使用することはできません。